



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 800 人

医師 158 人

コメディカル 642 人

【管理栄養士紹介登録数 43人】

平成21年7月20日現在

《目次》

～「中年男性患者さんの訴え…最近気になった症例から～

住友 秀孝先生……Page 1

研究会の実施報告……Page 2

研究会の実施報告……Page 3

研究会のお知らせ……Page 4

「中年男性患者さんの訴え・・・最近気になった症例から」

当会評議員 住友 秀孝

当方の外来に数年来通院されている50歳台半ばの男性患者さんがいます。仕事も家庭も順調で、経口糖尿病薬治療にてよい状態を維持されています。糖尿病の各種合併症は認めていません。

先日の外来で、「先生、1回テストステロンを測定してくれませんか？」との申し出がありました。さて、どうされましたか・・・と長話になったところ、「50歳を過ぎて何か元気がでない、みんな順調にすすんでいるのだがおっくうになってきた」との事でした。職場に置いてあった雑誌を読んでいたら、「男性更年期」の記事が掲載されていて、どうも自分にあてはまる項目があり、インターネットで検索してみたら、益々気になるようになったとのことでした。

さて、「更年期障害」といえば女性特有の症状といったイメージがありますね。しかし、男性にも、もちろん「男性更年期」があり、45歳から65歳に好発年齢です。働き盛り世代で、特にストレスが多い人に発症しやすい様です。年齢とともに精巣と副腎から分泌されるテストステロン量が少しずつ減少することが原因とされ、種々の症状を引き起こします。最近では、加齢男性性腺機能低下症候群（LOH症候群）とも呼ばれ、日本における潜在患者数は約250万人と推定されています。

その症状とは、(1)血管運動神経障害：のぼせ、発汗、動悸など、(2)精神神経症状：不眠、抑うつ、焦躁、燃え尽き感、疲労感、集中力低下、記憶力低下など、(3)運動神経症状：肩凝り、腰痛、筋力低下など、女性更年期と同様な症状に加え、(4)勃起不全（Erectile dysfunction = ED）があります。

診断には、「ADAM質問紙」や「男性の老化症状に関する質問票」が多く用いられ、これらとは別に、血清テストステロンJ濃度を測定する方法もあります。

この患者さんは、ご自分で都内の某病院泌尿器科を受診してみたいとのご希望がありましたので早々に紹介状をお渡ししました。それにしても、男はつらいよ・・・ではないですが、いくつになっても大変だと思いました。皆さんの医療機関を受診される中年男性患者さんに、思い当たる方はいませんか？



研修会等の実施報告

NPO法人西東京臨床糖尿病研究会第45回例会

平成21年6月20日(土)府中市中央文化センターひばりホールにて開催されました。



当会副理事長 多摩センタークリニックみらい 院長 宮川高一
 今回の例会は「糖尿病と足-今、医療連携に求められるもの」というテーマで平成21年6月20日(土)に府中市中央文化センターひばりホールで行いました。診療報酬での「糖尿病合併症管理料」の新設など、昨今の「フットケア」に対する関心の高まりを反映してか200名の参加者で大盛況でした。補助イヌを出すほどで、一部の参加者の方々にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。まず杏林大学付属病院の認定看護師森小津恵先生に「コメディカルから見た糖尿病」ということでフットケア外来の実際を講演していただきました。済生会川口総合病院皮膚科の加藤卓朗先生には「皮膚科からみた糖尿病」という演題で「白癬症」をはじめとする糖尿病患者に多い皮膚科領域の病変を豊富なスライドを交えてわかりやすく解説していただきました。至誠会第二病院足と靴医療センターの宇佐見則夫先生からは、「整形外科からみた糖尿病」という演題で、実際の糖尿病足壊疽の手術とその考え方を中心に自験データにもとづいた実証的な御講演を拝聴いたしました。最後に杏

林大学形成外科の大浦紀彦先生からは今年設立総会を迎える「日本下肢救済・足病学会」の設立意義について、形成外科的な糖尿病足病変への考え方につき、熱意をもった御講演がされました。その後の討論時間も30分ほどあり、フロアからも活発な質問、討議がありました。糖尿病という疾患は単に内科系ばかりでなく、他科との集約的連携が極めて重要であること、内科医であっても幅広い知識が必要であることを今更ながら痛感いたしました。厚生労働省の4疾病5事業の一つに「糖尿病」があります。各医療圏ごとに本当に「地域で動く」連携システムを築きあげていく必要とそれへの本研究会の役割がますます重要になってきていると考えています。



第23回 多摩糖尿病チーム医療研究会

平成21年6月25日(木)国分寺労政会館にて開催されました。

平成21年6月25日(木)東京都国分寺労政会館にて第23回多摩糖尿病チーム医療研究会が開催されました。今回の当番世話人は桜町病院内科部長林正紀先生で、「骨粗鬆症合併糖尿病と転倒予防」をテーマに多種多様な発表がございました。代表世話人の貴田岡先生のご挨拶の後、第一部では桜町病院での取り組みとして、(次頁へつづく)

(前頁より)

まず、林先生より「糖尿病患者の骨折入院例」「糖尿病・骨粗鬆症合併例」の症例提示、続いて看護師の野上氏より転倒予防講習会からの報告、管理栄養士の遊佐氏からは糖尿病の食事療法におけるカルシウム摂取について、(最後に薬剤師の池淵氏から糖尿病の薬物療法と骨粗鬆症について発表があり近藤医院の近藤甲斐夫先生より特別発言を頂くなど活発なディスカッションが行われました。第二部の特別講演では、公立学校共済組合関東中央病院 代謝内分泌科部長 水野有三先生より「骨粗鬆症の診断と治療」の演題で専門的で難しい内容をわかりやすく明快に講演を頂きました。最後に近藤先生より閉会のご挨拶を頂き大盛況の中研究会は終了しました。



研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業

◆ 第1回 東京臨床糖尿病運動療法研究会 (※お申し込みは不要です。)

この度新しく間接事業として加わりました。医師、運動療法の指導者をはじめ多くの運動療法に関わる方の参加をお待ちしています。

開催日：平成21年8月7日(金) 19:00～21:00

場所：立川市女性総合センター アイム 1Fホール

参加費：会員無料 非会員500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>：0.5単位申請中

※詳細は当会ホームページをご覧ください。

◆ 第3回 西東京糖尿病運動指導スキルアップセミナー

(西東京糖尿病運動体験セミナーから改名しました)

開催日：平成21年9月26日(土)～27日(日) 1泊2日

場所：高尾の森わくわくビレッジ (〒193-0821 東京都八王子市市川町55)

参加費：15,000円(宿泊費、4食費込み)

募集人員：42名(先着順)

申込み：同封の申込用紙をFAXして下さい。

宛先：西東京臨床糖尿病研究会事務局

FAX番号042-322-7478

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>：2単位申請中

☆健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位

講義5.0単位、実技3.0単位申請中

◆ 第102回 実践栄養指導勉強会 (お申し込みは不要です)

テーマ：微量栄養素とビタミンについて

開催日：平成21年9月15日(火) 18:45～20:15

場所：緑風荘病院併設グリーンボイス1F デイルーム

(東村山市萩山町3-31-1 西武拝島線八坂駅徒歩)

参加費：会員 無料 非会員500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位



・第9回「西東京糖尿病療養指導士養成講座」開講のご案内と申込受付

開 催：平成21年9月15日(火) 第1講開講
 以降12月1日(火)まで、週1回火曜日、木曜日、金曜日のいずれかに計13回実施
 時 間：19:00～21:00(開場18:30)
 会 場：立川女性総合センター アイム1階ホール (立川駅北口徒歩7分)
 (立川市曙町2-36-2 Tel.042-528-6801)

講義内容：「日本糖尿病療養指導士 受験ガイドブック 2009」に沿って行う。

受講料：13,000円

講義日程： 9月：15日(火) 24日(木) 29日(火)
 10月：6日(火) 13日(火) **16日(金)** 20日(火) 27日(火)
 11月：10日(火) 17日(火) 24日(火) 26日(木)
 12月：1日(火)

定 員：190名(定員に達し次第締切)

参加資格：糖尿病療養指導に1年以上携わった経験のある方(自己申告可)
 LCDE認定者もスキルアップのために受講可能ですが、未認定者を優先します。
 なお、認定単位は取得できません。

テキスト：日本糖尿病療養指導士認定機構 編
 「日本糖尿病療養指導士 受験ガイドブック 2009」を使用します。
 (日本糖尿病療養指導士認定機構発行、(株)メディカルレビュー社発売)
 ＊テキストは、開講日までに各自ご用意下さい。
 書店にご注文頂くか、インターネットで購入できます。

→ **7&Y(セブアンドワイ)** <http://www.7andy.jp/books/>
amazon(アマゾン) <http://www.amazon.co.jp/>

申込方法：8月1日(土)よりインターネット及びファックスにて申込を受付けます。
 (＊定員に達し次第締め切ります。)

- 1) 申込書に必要事項を記入してお申込下さい。
 - ①インターネットをご利用になれる方
 →<http://www.nishitokyo-dm.net/whatsnew.html>からお入り下さい。
 - ②インターネットをご利用いただけない方
 →事務局(042-322-7468)までお問合せ下さい。
- 2) 1週間を目安に、お手元にコンビニエンスストア払込票をお送りします。
 ＊ご入金を確認された時点で、申込受付完了となります。
 ＊コンビニ払込受領証をもって領収書と替えさせていただきます。
※必ず受講当日まで保管しておいて下さい。
- 3) ご入金を確認できた方には、順次「受講票」(ハガキ)を送付致します。
- 4) 受講日当日、「受講票」をご持参の上お越し下さい。
 ＊申込書1枚につき、1名の申込となります。受講を希望するご本人の名義でお申込下さい。

事務局からのお願い

今年度の年会費のお払込がお済でない方は、お振込用紙の期限が6月末日となっておりますが、まだお振込み可能ですので、ぜひお早めに最寄のコンビニエンスストアにてお払い込みをお願い申し上げます。

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リエント'ラザ 402

TEL: 042(322)7468 FAX: 042(322)7478

<http://www.nishitokyo-dm.net> Email: w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

